



2020. 4. 7. No1395  
 静岡県漁業協同組合連合会  
 ☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
 編集・発行＝指導部漁業振興課  
 URL:http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/

### 1. 新型コロナウイルスに関する基本的ガイドラインの発出について — 水産庁 —

新型コロナウイルス感染者の報告が増加していることから、水産庁より漁業者を含めた流通業者等を対象に基本的なガイドラインが発出されました。これは、漁業者(乗組員を含む)、食品製造業・食品流通業(卸売・小売)・外食産業の食品を取り扱う事業所の従業員に新型コロナウイルス感染症の患者が発生した場合に、保健所(感染症担当)等と連携し、食料安定供給の観点から、感染拡大防止を前提として、業務継続を図る際の基本的なポイントをまとめたものです。特に遠洋・沖合漁業においては、数日間船上で漁労を行うことから、予防対策の徹底、出港前及び航海中の対応、感染患者発生時の患者・濃厚接触者への対応など、徹底した対策が求められます。また、この感染症の主要な感染経路は、飛沫感染と接触感染であると考えられており、2020年2月21日現在、食品(生で喫食する鮮魚介類を含む)を介して感染症に感染したとされる事例は報告されておりません。製造、流通、調理、販売等の各段階で、食品取扱者の体調管理やこまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒、咳エチケットなど、通常の食中毒予防のために行っている一般的な衛生管理が実施されていれば問題はないとの見解が示されていることから、組合員・役職員・仲買人等の関係者に基本的ガイドラインを周知し、感染防止に努めるようお願い致します。なお詳細については、令和2年3月16日水産庁局長名で発出された「漁業者に新型コロナウイルス感染者が発生したときの対応及び事業継続に関する基本的ガイドラインについて」を御参照下さい。

### 2. 県下沿海地区漁協 役員改選のお知らせ

3月に総(代)会を開催した沿海地区の漁協のうち、任期満了等による役員改選を行った漁協の組合長が次のとおりに決まりましたので、お知らせします。

漁協名	代表理事組合長	漁協名	代表理事組合長
初島	新藤康晴(留)	静浦	大川隆夫(留)
内浦	土屋孝次(留)	沼津我入道	松下一男(留)

### 3. 新職員研修会を開催 — 指導部 —

県漁連では、3月23・24日県水産会館において「第96回新職員研修会」を開催しました。研修会は、漁協・水産関係団体の新人職員を対象に社会人としての一般的マナーを学び、漁協系統職員としての自覚を高め、職務に対する基礎知識を習得することを目的として、毎年開催されています。

本年度の研修会では11名の参加があり、1日目に外部講師を招き「ビジネスマナー研修」を行ったほか、2日目は本会指導部より「静岡県の水産業とJFの取組」、「漁協組織の現状と漁協職員としての心構え」、「漁協の経済事業」について、信用事業・共済事業については、信漁連・共水連より解説がありました。

**安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう**

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

### 4. 水産イノベーション対策支援事業の初年度が終了 — 指導部 —

令和元本年度より新たにスタートした、水産イノベーション対策支援事業の初年度事業が終了しました。この事業は、水産業に携わる方々の水産振興、水産資源の管理・増殖、人材確保に関する工夫・改善による新たな取り組みの実現を促進するためのスタートアップ経費を補助するものです。

募集は災害対応を含め4回行い、68件の事業が実施され補助実績は34百万円となりました。取組の内訳は、水産振興55件(販路開拓22件、新商品開発16件、衛生管理3件、その他21件<重複あり>)、資源管理8件(漁場環境改善4件、食害対策2件、その他2件)、人材確保5件(業務省力化4件、外国人受入1件)となっており、業種別内訳は漁業関係者35件、水産加工業関係32件、その他1件でした。

令和2年度は、4月20日(月)より募集を開始(5月31日締め切り)します。事業の利用を考えている水産業者等は、支援チーム(県漁連、信漁連、加工連、内漁連)にご相談いただき手続きを進められるようお願い致します。

### 5. 本会 人事異動のお知らせ

本会では、次のとおり職員の人事異動を発令しました。(カッコ内は旧役職)

◇異動 4月1日付

▽総務担当参事兼総務部長 森 真基(総務部長)▽指導担当参事 青山一弘(指導部長)  
 ▽指導部参与 鈴木雄策(指導担当参事)▽総務部経理課長代理《課長待遇》 上嶋永昭(指導部漁業振興課長兼協同組合課)  
 ▽温水利用研究センター所長 鈴木吉典(温水利用研究センター所長心得)▽指導部協同組合課長兼漁業振興課 五十風 純(指導部協同組合課長心得兼漁業振興課)  
 ▽購買部石油課長兼資材課長 大石 衛(購買部石油課長心得兼資材課長心得)▽総務部総務課長 鈴木秀幸(総務部総務課長心得)▽温水利用研究センター沼津分場長心得 佐竹颯一(温水利用研究センター沼津分場主任兼分場長事務取扱)▽温水利用研究センター所長代理 石神一雄(温水利用研究センター主任)▽指導部漁業振興課主任兼協同組合課 鈴木康高(総務部経理課主任)▽あさり出荷センター主任兼焼津事業所主任(浜名駐在) 田中 守(あさり出荷センター担当主任兼焼津事業所担当主任(浜名駐在))▽漁連丸《担当主任待遇》 増田 悟(沼津事業所担当主任)▽沼津事業所担当主任 望月淳矢(静岡事業所担当主任)

◇新規採用 4月1日付

▽指導部長兼漁業振興課長<嘱託> 高瀬 進 ▽焼津事業所 中野誠也 ▽静岡事業所 久保田祐希

◇退職 3月10日付

▽静岡事業所 山田惇起

◇退職 3月31日付

▽焼津事業所 吉田 響

本紙は、県内の漁業振興を目的に(公財)静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

**漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう**